

施策名【林業】

章	節	施策		主要施策	事務 事業 コード	事業 数	事務事業	課	係	管理 方法	備考
3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興	2.林業	(1)	林業経営基盤の確立	3121-1	1	財産区等事務事業	耕地林務課	林務係	簡易	
					3121-2	2	臼田財産区管理運営事業	臼田支所	経済建設環境係	簡易	
					3121-3	3	望月財産区管理運営事業	望月支所	経済建設環境係	簡易	
			(2)	林業生産基盤の整備と維持	3122-1	4	森林整備事業	耕地林務課	林務係	通常	
					3122-2	5	有害鳥獣駆除対策事業	耕地林務課	林務係	通常	
			(3)	多面的機能を発揮する森林づくり							

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	財産区等事務事業			事務事業コード	3121-1
担 当	経 済 部	耕地林務 課	林務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(定型)		法定根拠	地方自治法	
管理方法	簡易				
実施方法	☐ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 (				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 大沢財産区、前山、小宮山財産区、内山財産区、各財産区の事務事業の円滑な運営を行う。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・財産区議会前には全員協議会を開催し、議案等について十分な協議を行う。 ・財産区有林等の整備は、各財産区において議員自ら佐久市森林整備計画を基に県林務課の指導を受け森林経営計画を策定し、計画的な施業(間伐、下刈等)を財産区構成員による直営作業と林業事業体への委託により実施する。 ・市は事務局として財産区の経理全般を担う。 ・森の里親契約を促進し、交流人口の創出を図る。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	14,124		17,327		67,313	
	人件費	0.35 人	2,398	0.35 人	2,545	0.35 人	2,545
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,398		2,545		2,545	
	総事業費	16,522		19,872		69,858	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	16,522		19,872		69,858	
	財源合計	16,522		19,872		69,858	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	臼田財産区管理運営事業				事務事業コード	3121-2
担 当	総務 部	臼田支所 課	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	地方自治法			
管理方法	簡易					
実施方法	☐ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☒ その他 （ 臼田地区5財産区で運）					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 財産区の貴重な財産を維持管理することにより、区民は森林の持つ多面的機能を保有し、有効活用が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・各財産区議会を開催(全員協議会2回、定例会2回)し、条例、予算、決算等の議決を行う。 ・財産区の事業に必要な事務を行う。 ・財産区の所有する財産の境界調査及び森林整備、育成を議員とともに行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.55 人	3,768	0.55 人	3,999	0.50 人	3,635
	非常勤職員等	0 時間	0	150 時間	200	0 時間	0
	人件費合計	3,768		4,199		3,635	
	総事業費	3,768		4,199		3,635	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	3,768		4,199		3,635	
	財源合計	3,768		4,199		3,635	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	望月財産区管理運営事業				事務事業コード	3121-3
担 当	総務 部	望月支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠			
管理方法	簡易					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 各区の貴重な財産を維持管理運営することにより、区民は森林の持つ多面的機能を保有し、有効活用が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ①財産区議会定例会を必要の応じて開催し、予算、決算、条例等を決定していく。 ②財産区の事業に必要な事務を行う。 ③財産区の所有する財産の境界調査及び森林整備、育成を行う。 ④財産区議員及び作業員とともに財産区有林等の資産整備を行い、またこれらに関する事務処理を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	1.00 人	6,850	1.00 人	7,270	1.00 人	7,270
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	6,850		7,270		7,270	
	総事業費	6,850		7,270		7,270	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	6,850		7,270		7,270	
	財源合計	6,850		7,270		7,270	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	森林整備事業			事務事業コード	3122-1
担 当	経 済 部	耕地林務 課	林 務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	森林法、森林病虫害等防除法、道路交通法、森林経営管理法	
管理方法	通常				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 (				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 適切な森林管理と持続可能な森林経営を行うことで、水源涵養、地球温暖化の防止等、森林の持つ多面的機能を発揮させる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 《民有林整備》 ・市有林の整備は、佐久市森林整備計画を基に、県林務課の指導を受け森林経営計画を策定し、計画的な施業(間伐、下刈等)を林業事業体への委託により実施する。 ・私有林の整備は、佐久市森林整備計画を基に、林業事業体等から森林経営計画の提出を受け、計画的な施業の促進が図られるよう県林務課と共に指導を行う。 《松くい虫防除対策》 ・松くい虫によるアカマツの被害は、地元区からの要望書に基づき、被害木を現地で確認する。 ・処理方法は、点状に被害が拡大しているため現地に適した方法として、松くい虫被害木を現地で伐採し薬剤でくん蒸する「伐倒、くん蒸処理」を事業者への委託により実施する。 《林道維持管理》 ・林道の改良工事、補修等は民間事業者への委託により実施する。 《その他》 ・地域林政アドバイザーを配置し、森林林業に関する相談窓口を設け普及活動を推進する。 ・平成29年7月1日に取得したFMグループ認証(森林管理)を継続し、適切な森林管理と持続可能な森林経営を行う。 ・市内山林、林道等の定期的な巡視を直営及び委託等により実施する。 ・平成31年4月1日に施行した森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムを推進する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	191,079		207,335		401,498	
	人件費	3.60 人	24,660	3.60 人	26,172	3.60 人	26,172
	非常勤職員等	1368 時間	2,843	1368 時間	2,843	1368 時間	2,843
	人件費合計	27,503		29,015		29,015	
	総事業費	218,582		236,350		430,513	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	23,754		144,337		306,244	
	一般財源	194,828		92,013		124,269	
	財源合計	218,582		236,350		430,513	

令和 5 年度 実施内容	松くい虫伐倒、くん蒸処理9件(V=785m ³) 林道橋りょう長寿命化事業3件 森林環境整備事業10路線(側溝土砂撤去等) 市単林道工事9件 林道単独災害復旧工事等10件 緊急自然災害防止対策事業 工事4件、業務4件
-----------------	---

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
松くい虫被害木の処理に対する区要望件数	件	実績	19	19	
		目標	30	30	30
	%	達成率	63	63	
成果指標	単位				
松くい虫伐倒、くん蒸処理量(材積)	m ³	実績	867	785	
		目標	1,000	1,000	1,000
	%	達成率	87	79	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	・松くい虫伐倒、くん蒸処理(材積)は785m ³ で20件の要望に対して19件実施、1件は松くい虫防除事業完了後の要望であったため対応ができなかった。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間への委託が可能	・松くい虫防除対策、林道維持管理の市単事業は、年度当初に事業者へ委託し、補助事業は内示後、速やかに事業者へ委託しており、速やかな対応ができる体制をとっている。
事業の課題	- アカマツ林は、佐久市の景観やマツタケ(特用林産物)の大切な資源でもあるが、松くい虫被害は拡大し続けており、それを未然防止できる得策がない。 - 林道は法面や未舗装が多く、特に風雨の影響を直接受けやすく、常に側溝の土砂撤去や補修が必要となっている。 - また、開通から4～50年経過している路線もあり、補修の頻度が増加している。 - 民有林については、市民の関心も薄くなかなか森林整備が進まない。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	拡充	期間・時期	令和 年度 ～ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> - 民有林の整備については、市内モデル地区にて森林環境贈与税を活用した森林整備を実施し、成果を山林所有者に周知することにより森林環境贈与税活用山林を増加させ、新たな森林管理システムを推進していく。 - 松くい虫防除対策は、今後も引き続き、市内全域の防除対策を実施すると共に、未被害地域への被害を拡大させないため、被害先端地域の被害木を優先的に処理することで被害の拡大を抑制していくため今後も財源として森林づくり県民税を活用していく。 - 定期的な林道の巡視を実施し、補修が必要な場所が拡大する前に整備計画を立て早め早めに補修等を実施していく。 - 森林・林業に関する問い合わせに対応するため、引き続き森林アドバイザーを配置し相談窓口を設ける。		

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	有害鳥獣駆除対策事業			事務事業コード	3122-2
担 当	経 済 部	耕地林務 課	林 務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	森林法、森林病虫害等防除法、道路交通法、森林経営管理法	
管理方法	通常				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 (				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 二ホンジカやイノシシなどの有害鳥獣の個体数調整を実施することで農林業被害を減少させる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・個体数調整する二ホンジカ及びイノシシの駆除頭数は、県林務課から示された目標駆除頭数を佐久市猟友会との協議を経て設定し、鳥獣被害防止計画に定める。鳥獣被害防止計画は、広域連携及び有利な補助制度を活用するため小諸市、立科町と共同で策定する。 ・市内全域の有害鳥獣駆除は、佐久市猟友会へ委託し、情報共有や連携を図りながら駆除を実施する。 ・猟友会員の確保に向けた取り組みとして、市民を対象としたわな猟講習会の開催や新規狩猟免許取得者等補助金の交付を行う。 ・小諸市、立科町と共に有利な補助制度を活用し、猟友会員が駆除で使用するくくりわななどを共同購入する。 ・駆除後の個体処理は猟友会員の負担となることから、負担軽減のため民間の廃棄物処理施設への搬入の継続及び民間の加工処理施設への搬入を平成30年6月から開始している。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	36,037		34,202		50,147	
	人件費	1.05 人		1.05 人		1.05 人	
	常勤職員	7,193		7,634		7,634	
	非常勤職員等	0 時間		0 時間		0 時間	
	人件費合計	7,193		7,634		7,634	
	総事業費	43,230		41,836		57,781	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	16,767		15,940		12,395	
	一般財源	26,463		25,896		45,386	
	財源合計	43,230		41,836		57,781	

令和 5 年度 実施内容	大型獣のニホンジカ1,949頭及びイノシシ51頭の駆除、 小型獣用箱わなの設置15回及び大型獣用檻の設置24回、 ツキノワグマ学習放獣20回、 新規狩猟免許取得者等補助金11名交付 猟友会員による民間の廃棄物処理施設への搬入60頭				
-----------------	---	--	--	--	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
有害鳥獣(ニホンジカ、イノシシ)の駆除頭数	件	実績	2,000	2,000	
		目標	2,000	2,000	2,600
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
農林業被害など市民等からの通報に対する出動件数	件	実績	17	15	
		目標	30	20	20
	%	達成率	57	75	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	農林業被害など市民等からの通報による出動件数はR5年度(単年度)では減少した。これらの出動は、市が佐久市猟友会と情報共有し迅速に対応している。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間への委託が可能	事業の性格上「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」及び「銃砲刀剣類所持等取締法」に基づき、狩猟免許(銃器、わな等)を所持している者でなければ従事できず、市内団体でこの法律に基づく資格を有するのは佐久市猟友会のみである。
事業の課題	市民や農林業関係者から被害報告や相談が寄せられているが、ニホンジカ等は市町村の境界を越えて広域を移動する動物であるため、市内の生息数を的確に把握することは難しく、また地域分布の把握も難しい状況にあり、駆除の終わりが見えない。 また、駆除に係る猟友会員の高齢化も課題である。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	拡充	期間・時期	令和 年度	～	令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ニホンジカ及びイノシシの目標駆除頭数は、昨年度から600頭増やし2,600頭とするほか、地域の要望からサル檻を継続して設置し、農林業災害の未然防止に努める。 今後も引き続き、現場の状況を十分に理解している佐久市猟友会や地元区等との情報共有や綿密な連絡を取り合い、有害鳥獣の状況把握と的確な被害防止対策を図る。 狩猟等免許取得に対する補助金の継続のほか、わな猟講習会などを通じ狩猟に興味のある方、農林業被害に困っている方に対して、県林務課と連携し、狩猟免許取得を促す。				